| 学校番号 | 210 |
|---|---|

# 令和８年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 文学国語 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「新編文学国語」（大修館書店） | | | | | | |
| 副教材等 | ほんものの力がつく現代語練習帳ことのは三訂版（いいずな書店） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

小説を中心に学習を進めます。
ただ字面をながめるのではなく、何度も振り返り立ち返り読み直すことで、理解が深まっていく過程を経験させたいと思います。自分の受け止め方と他者の受け止め方の違いを理解することで、いろいろな面でものごとをみることにつながってほしいと思っています。

## 2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている | 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 一学期 | ●明日をひらく<br>［教材］<br>「少なくとも最後まで歩かなかった」 | a:言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。<br>b[　読　]:・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。<br>c:〔知識・技能の評価規準〕+〔思考・判断・表現の評価規準〕+「粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている」。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート | 授業態度<br>提出物<br>リフレクションシート |
| | ●明日をひらく<br>［教材］<br>「そとみとなかみ」 | | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート | 授業態度<br>提出物<br>リフレクションシート |
| | ●社会に生きる<br>［教材］<br>「神去なあなあ日常」 | a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。<br>b[　読　]:読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。<br>c:〔知識・技能の評価規準〕+〔思考・判断・表現の評価規準〕+「粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている」。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート | 授業態度<br>提出物<br>リフレクションシート |
| 二学期 | ●読書の広場<br>［教材］<br>「さくら日和」 | | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート | 授業態度<br>提出物<br>リフレクションシート |
| | ●小説を楽しむ<br>［教材］<br>「ナイン」 | a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>b[　　読　]:作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。<br>c:〔知識・技能の評価規準〕+〔思考・判断・表現の評価規準〕+「粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている」。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート | 授業態度<br>提出物<br>リフレクションシート |
| | ●名作を読む<br>［教材］<br>「山月記」 | | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート | 授業態度<br>提出物<br>リフレクションシート |
| 三学期 | ●表現を味わう<br>［教材］<br>「柿」 | a:文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。<br>b[　　書　]:語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。<br>c:〔知識・技能の評価規準〕+〔思考・判断・表現の評価規準〕+「粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている」。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート | 授業態度<br>提出物<br>リフレクションシート |
| | ●表現を味わう<br>［教材］<br>「ぼくのお母さん」 | | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート | 授業態度<br>提出物<br>リフレクションシート |

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　20　）時間

・読むこと　…　（　50　）時間